

前期卒業

前年度に卒業条件を満たすことができずに留年した4年生が、卒業必要単位数を修得し、かつその学期末まで在学期間4年を満たし、第4学年に1年以上在学している場合、前期末での卒業が可能です。

この制度を利用して前期末で卒業することを「前期卒業」といいます。期限までに手続きが行われない場合は、通常の学年末の卒業となります。前期卒業を申請する際は以下の点に注意してください。

- 1) 一度提出した前期卒業願いは取り消しできません。特に就職先の条件が「前期卒業」と「年度末卒業」のどちらを求めているのかをよく確認してください。
- 2) 卒業条件を満たしていない場合、前期卒業は不可になります。必ず余裕をもって履修登録をし、後期履修登録修正期間についても把握しておいてください。

【前期卒業手続き日程（概要）】

期日	内容	
4月	履修登録	前期卒業を考えている方でも、後期や通年科目も履修登録するのが一般的です。
8月上旬	前期卒業届出	前期卒業を考えている方は、届出期限までに各事務室へ「前期卒業願」を提出してください。 ※詳細は6月上旬に別途掲示を行いますので、注意して確認してください。
8月	8月集中講義	前期科目として参入されます。履修登録時に必ず確認してください。9月集中講義は、後期科目です。前期科目には入りません。
8月下旬 9月上旬	成績発表	前期科目の成績評価が通知されます(通知日はキャンパス毎に異なります)。『nfu.jp』にアクセスして、卒業の可否を確認してください。成績調査の申し出が必要な場合は、卒業判定に間に合わせるため期日が別途設定されるので、掲示を注意して確認してください。
9月末	前期学位記授与式	前期学位記授与式（卒業式）を執り行います。